

生活を支える水のゆくえ

金子 咲桜

福岡市立 西花畑小学校

みなさんは、生活を支えてくれる水が、どこへいつているのか知っていますか。生活にかかせない水は、地面の下にある排水管を通じて、ポンプ場へと運ばれます。

ポンプ場とはみなさんが使った水をきれいにして、海や川へと放流するしせつです。最初に、沈砂池という大きなごみをしずめる所に、約一分。次に、最初沈殿池といって、小さなごみをしずめる所に、約三時間。そして、生物反応槽といって、び生物がよごれを食べてくれる所に、約七時間。そして、この生物反応槽という所でとても役立つてくれる、び生物には、たくさん種類があります。例えば、手足をいろいろな方向にのばすアメーバ、口の先がくるくるとまいている、ツリガネムシ。わたしは、小さくて小さくて、わたしたちの目ではぜつたいに見えないくらいなのに、人のように、形やもようが全然ちがうび生物におどろきました。そして次は、よごれを食べてくれたび生物をしずめる最終沈殿池です。ここでは、約三時間きれいにします。最後は、消毒槽という、消毒して流す所で、約三十分きれいにします。そして、最終沈殿池から、消毒槽にいくまでの水のなかには、再生処理施設にいく水もあります。その水はトイレなどに使われます。こうして水は、海や川へと放流されるのです。わたしは、この、長い長い旅をやつと終えて、海や川へと放流してくれているという事に、とても感しゃします。

下水道の方達が、何しか分からないくらいにたくさん水を、きれ

いにしてくれて、とてもうれしいです。だけど、下水道の方達が少しでも楽になるように、わたしたちでがんばります。例えば、道路のごみ拾い、トイレにはトイレットペーパーだけ流すなどの、かんたんな事だけでも行動にうつしたいです。そして、機械と下水道の方だけではなく、び生物も働いている事がおもしろいなと思いました。急がしい中わざわざ、下水道の説明に来てくれて、ありがとうございます。下水道について、きょう味がわきました。